

2020年度 第1回 ササハタハツ会議

2020年6月30日
渋谷区 まちづくり第一課・公園課

本日の次第

開会の挨拶

第1部（18：00～）

- ・ 昨年度の取り組み及び今後の進め方について

第2部

- ・ 緑道コンセプトプラン発表（18：25～）
- ・ ワークショップ（19：40～）

閉会の挨拶

2019年度 緑道ワークショップ

2019年度、3回の緑道ワークショップを計画し、そのうち2回を実施しました。

第1回 令和元（2019）年11月14日（木）13：00～17：00（緑道、渋谷区地域交流センター西原）

テーマ「緑道の魅力を発見・共有する」

内容：①まち歩き、②緑道の魅力まとめ・発表

参加：37名

第2回 令和2（2020）年1月23日（木）14：00～16：00（緑道、渋谷区地域交流センター本町）

テーマ「継続して活動する“仲間”をふやす」

内容：①専門家からのアドバイス、②2グループに分かれてのグループ討議

③私のできること宣言「仲間を増やすために皆さんができることは？」

参加：22名

第3回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期

令和2（2020）年3月27日（金）15：00～17：00（渋谷区役所15階 スペース428）

テーマ「緑道で活動する仲間を増やすためにできることは？」

2019年度 第1回緑道ワークショップ

(令和元(2019)年11月14日実施)
テーマ「緑道の魅力を発見・共有する」

専門家：泉山氏、大藪氏、熊谷氏
参加者：37名
(地区内訳 笹塚地区・・・10名
幡ヶ谷地区・・・11名
初台地区・・・16名)

①まち歩き

緑道を3地区（笹塚地区、幡ヶ谷地区、初台地区）に分け、各地区ごとにまち歩きを行いました。

まちづくりの専門家や参加者同士で意見を共有しながら実際に緑道を歩くことで、緑道の新たな魅力や気づきを得ることができました。



②緑道の魅力まとめ・発表

緑道の魅力を「残したい歴史」（過去）、「花や緑の魅力」「周辺のこと」（現在）、「もっと活用できること」（未来）に分類してまとめ、地区ごとに発表しました。地域の方ならではの視点で緑道の魅力を語っていただき、利用者の要望やより魅力的な緑道に進化するためのアイデアも盛りだくさんに出て活発な議論となりました。



2019年度 第2回緑道ワークショップ (令和2(2020)年1月23日実施)

テーマ 『継続して活動する”仲間”をふやす』

専門家：泉山氏、大藪氏、熊谷氏
参加者：22名

①仲間をふやすには？

第2回では、専門家から地域主体のまちづくりの事例について情報提供がありました。

他のまちでの事例を踏まえ、今後緑道を活用するためには、もっとも大切なのは「仲間を増やしていくこと！」をテーマとして議論を進めました。

②私のできること宣言

家族で話してみる、SNSを活用して広報する、町会の会合やボランティア仲間と話し合う、若い人にイベント参加を呼び掛けるなど、小さなことでも取り組みできる「私ができること」宣言で締めくくりました。



私たちの取り組み

2019年度緑道ワークショップを経て

2020年6月30日
初台まちづくり協議会
清水 伸子

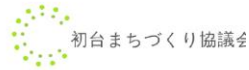


- 今までのこと、これからのことをお話しました。

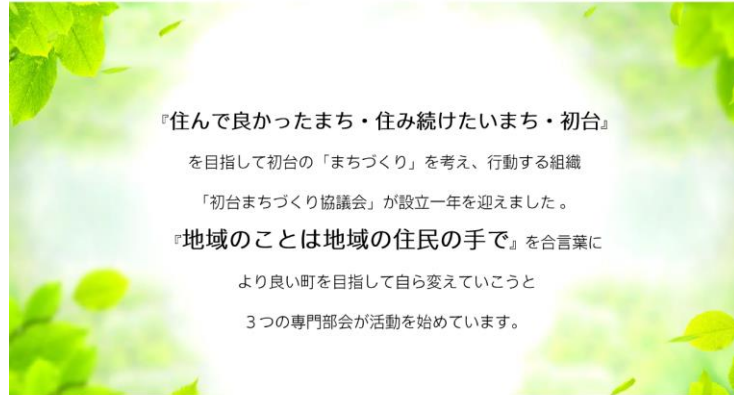
ササハタハツ新聞
2019年8月30日

住んで良かったまち・住み続けたいまち・初台

HATSU MACHI NEWS



初台まちづくり協議会から初台にお住まいの皆さんへの活動報告ニュースレター



会長挨拶

渋谷区ではササハタハツのまちづくりに注目して、どのようなまちにしたいか地域の人の声に耳を傾けています。改修する時期にきたササハタハツを貫通する旧玉川上水路・緑道をまちづくりの起爆剤にしたいと、どのような公園にしたいか、どのように使いたいかについても発言が求められています。

このようなタイミングに初台では、**初台を住みよいまち・住み続けたいまちにしたい**と「初台まちづくり協議会」を立ち上げました。初台町会の中に**まちづくり勉強会**を発足させ、まちづくりの事例を勉強し、初台のまち歩きを実施するなどの活動を続けてきました。こうして自分たち

のまちをどのようなまちにしたいか自ら考え、こうありたいと考えるまちに一步一步自ら近づけたいと思い、平成31年3月、**初台まちづくり協議会**設立に至りました。

設立と共に、裏面でご紹介する3つの専門部会をスタートさせ、**第1回公開講座**を令和元年6月に開催、コンサルタントの景山浩先生から「まちづくりの仕組み」と題してお話を伺い、まちづくり協議会で何ができるかを学びました。また、8月には初台にまちづくり協議会を設立したことを**長谷部渋谷区長に報告**し、区長からは初台地域のまちづくりの課題と取り組みについて話を伺いました。



山崎 徹 (初台まちづくり協議会 初台町会会長)



初台通りの電線を地中化することも防災や景観の観点から重要なまちづくりの一つです

事前復興という言葉があります。災害が起こる前から復興のことを考えるという意味で、普段から「まちづくり」について考えていることが大切だという意味につながります。初台まちづくり協議会はそのような場でありたいと考えています。皆様のご参加をお願いします。

HatsuMachi News

2020年4月に初台1・2丁目に
全戸配布

まちづくり協議会の活動をお知らせしました。

工事協定部会



小嶋 雄二 (工事協定部会長)

初台を取り巻く環境は、年々大きな変貌を遂げています。建て替えにともなう、高層ビルやマンションなどの工事が今後も進んで行くと思われれます。工事協定部会はまちに住む人たち、事業者、施工者と知恵をだしあってより良い「まちづくり」に

取り組んで行きたいと思っています。工事については「**工事協定**」(約束ごと)を結んで行きたいと考えています。「工事協定」のなかで**幅代小学校へ通う児童の安全の確保**のために、工事車輛の通行、クレーンの稼働は8時30分以降とする、

などの初台地域を考慮した「工事協定」を目指します。また、**周囲と調和した色彩の建物、樹木の選定**などにも考慮してほしいと要望して行きます。

緑道部会



片山 誠 (緑道部会長)

緑道部会は、渋谷区による玉川上水旧水路緑道の再整備について地元住民としてより利用しやすい緑道になるように、と組織されました。

令和2年2月13日に緑道部会が開催され、渋谷区緑と水・公園課の主旨の方から玉川上水旧水路緑道再整備について、平成30年7月に発表された基本構想の概要説明と基

本計画(～令和元年度)基本設計(令和2～3年度)詳細設計(令和3～4年度)工事(令和4年度～)のスケジュール説明を受けました。

今後の予定としては、新型コロナウイルス感染症予防のため延期している**初台緑道のまち歩き**を会員で行い、初台緑道はどうあるべきかをワークショップを含め、勉強を

深めます。勉強会と並行して、渋谷区が開催しているササハタハツのフューチャーセッションや緑道再整備に向けたワークショップなどに参加して、勉強会等で出た意見などを発表していく予定です。

今後渋谷区が行なう基本設計・詳細設計にも意見を述べることも、部会として関わっていきます。

電線地中化部会



山崎 徹 (電線地中化部会長 兼 初台まちづくり協議会会長)

初台の商店街の通りを**防災と景観の観点から電線を地中化し、無電柱化を実現したい**と活動しています。渋谷区と連携をとりつつ初台通りの要望を常に発信しています。

電線地中化も初台のまちづくりのひとつの手段ですから、電線がなくなった道路を初台のまちの活性化にどのようにつなげていくかも考えていきます。例えば道路を**カラー**



電線地中化されている北品川の商店街を視察。すっきりした道路空間が素晴らしい

舗装化し、休日のたびに歩行者天国にして**道路空間を憩いの場**にしてはどうか、などです。

電線地中化を実現しているほかの区の商店街や通りを視察し、実現に至るまでの考え方や道筋を現地の方にヒヤリングして、刺激を受け、参考にしています。初台に住んでいる皆さんが、商店街の通りの電線地中化を「いいね」と言っていたりできないと実現できません。電線地中化部会の活動に参加し、夢を実現させましょう！

会員募集中

電話：03-3370-8244 fax：03-4333-5475
e-mail: hatsumachi@h02.itscom.net

Facebookグループ
初台まちづくり協議会



清水 伸子 (副会長 兼 総務担当)

各部会の活動報告

緑道ワークショップでの宣言

まち協のFacebookグループをつくり、
その中で緑道やまちのことを伝える。

Facebook 初台まちづくり協議会

<https://www.facebook.com/groups/3267468803268423/>

- 2020年1月開設
設定 : Public



さいごに

“ If you make/do (build) it, they (he) will come”

2019年度／まちラボフューチャーセッション



sasahatahatsu
ササハタハツ
新聞
Journal

- ニュース
- アート文化
 - イベント情報
 - グルメ
 - スポーツ
 - 社会・経済
 - 地域情報
 - お知らせ



2020.04.09 | 地域情報

ササハタハツ（仮称）まちラボフューチャーセッションから生まれた新しいリレーションシップ ～ノウハウの共有から広がるよりよいまちづくり～

道路を使って、人と人がつながる新たな場を創出することを目指す「道路活用検討プロジェクト」でタッグを組む初台町会会長の山崎さんと十号通り商店街理事長の秋元浩さんにお話を聞きました。



2019年度／まちラボフューチャーセッション

今年度と昨年度までとの違い

- ① これまで取り込めていなかった商店会と企業の協力を推進力に変える
- ② プロジェクトを自分事としてもらうための啓発、先進事例紹介による事務局の積極的サポート
- ③ プロジェクトの見える化と担い手の発掘

8月30日立ち上げ



1月24日ササハタハツエリアで展開開始



①

②

③

④

⑤

⑥

PJの実施・検証

①キックオフ 8月30日
 ・トークセッション（2部構成）
 ・発散型のテーマ出し
72人参加

③プロジェクト作り 11月28日
 ・プロジェクト立候補
 ・プロジェクト作りワークショップ
53人参加

⑤中間発表 1月24日
 ・企画の確定と発表
 ・実装に向けての最終確認
70人参加

10プロジェクト進行中

②チーム作り 10月18日
 ・先進事例紹介
 ・プロジェクト作り
 ・チーム発表
64人参加

④企画検討会議 12月18～20日（全4回）
 ・各プロジェクトチーム毎に詳細な企画検討
計55人参加

⑥成果発表会（3月26日）
 ・メディアを呼んだ大々的な成果発表
 ・まちラボ立ち上げの発表

中止

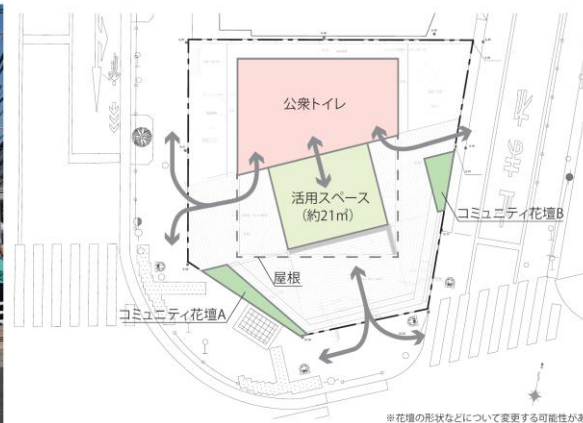
2019年度／まちラボフューチャーセッション

① インクルーシブ※1運動場プロジェクト



年齢、性別、障がいに関わらず誰でも参加できて、スポーツ・遊びを通して交流を生み、まちが楽しくなることを目指す企画。どこでも運動場プロジェクトと連携して行う。将来的にはしづりんピックの開催を目指している。

② 幡ヶ谷公衆トイレ活用プロジェクト



幡ヶ谷公衆トイレの改修に併せて多目的スペースを併設する事業を区が実施している。その多目的スペースをギャラリーとして活用することを検討している。

*花壇の形状などについて変更する可能性があります

2019年度／まちラボフューチャーセッション

③ 道路活用検討プロジェクト



初台「おとなりサンデー」の構造

ササハタハツ提案

おとなりサンデー
2018 & 2019

オープンカフェ
in 初台通り

A, B
初台緑道

C
初台通り

おとなりサンデー
2020.6.7

道路を止めて人と人がつながれる場を創出することを目指している。
おとなりサンデーの際に、初台通りでオープンカフェの実施を目指している。将来的には水道道路等も活用したい。

④ 北渋festival（オペラ通りで音楽祭）プロジェクト

カタシブ Art & Music
北渋festival
Sasazuka-Hitagaya-Hatsudai
ササハタハツ

オペラ通りを南北2つのエリアに分け、交点になる部分に交流の中心を配置します

Communication AREA

人工芝の敷き物が設置された人が通じめる場。道路でゴロゴロしながらオペラ通りの空間を全身で満喫できます。

Entertainment AREA

仮設舞台が設置されたライブや発表活動の場。ワークショップ用のツグテーブルも配置し、創作起点となります。

Food AREA

駅からの導入として屋台や飲食販売を中心とした場。飲食可能なテーブルが設置されます。

プロジェクトのゴールとして「表現者（アーティスト）が食べていける街」を目指し、まずは今年度、オペラ通りで音楽祭を実施することを目指している。

2019年度／まちラボフューチャーセッション

⑤ まち遺産探検隊プロジェクト



この活動の趣旨

まち遺産探検隊は、
将来の街の担い手となる子ども達と、
世代を越え、
「街の記憶」や「この街らしさ」を懐かしみ語り合うことで、
受け継ぐべき街の魅力を見つめ直します。



これからの街の担い手である子供たちと街を歩いて、未来に残したい街のステキなもの（=まち遺産）をたくさん見つける活動。
今年度、オンラインでの開催も実施している。

⑥ 地域SNSプロジェクト



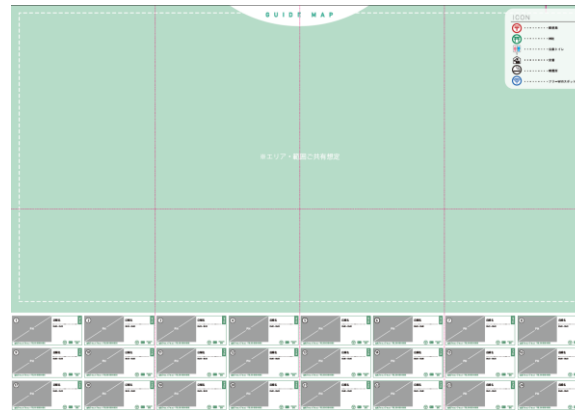
地域SNSアプリ「ピアッツァ」の主な機能



コミュニティ活性や人と人のつながりを生むツールとして、昨年度1月24日よりササハタハツエリアにて、地域SNS『ピアッツァ』がスタート。今後、各プロジェクトの広報・情報発信のツールとしても活用が期待される。すでにまち遺産探検隊のグループが立ち上がっている。

2019年度／まちラボフューチャーセッション

⑦ ササハタハツマッププロジェクト

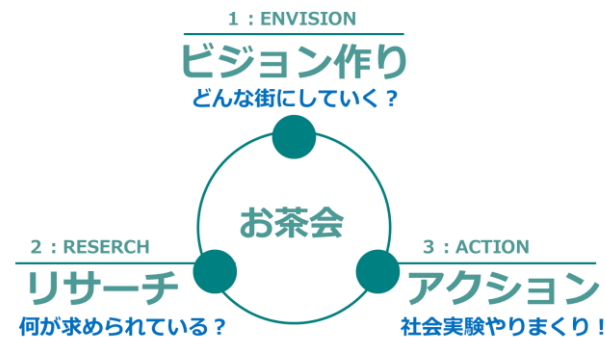


ササハタハツエリアの一体型マップを渋谷区観光協会が作成するプロジェクト。今後、地域の方からの意見も聞きながらコンテンツをまとめていく。

⑧ 緑道でお茶会プロジェクト



お茶会でやること



緑道再整備に向けて計画が進められているが、それらを区に任せしておくのではなく、アクションを起こしていくことが大事と考え、そのきっかけになるようなオープンな「お茶会」を緑道で開催することを目指す。

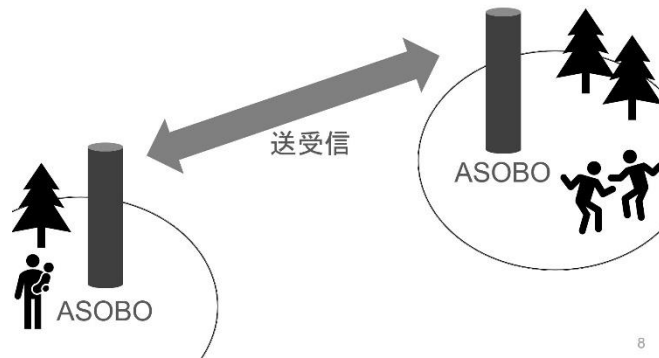
2019年度／まちラボフューチャーセッション

⑨ ササハタハツ×自然プロジェクト



緑道の「自然」に着目したプロジェクト。専門家やほかの地域の住民の活動に学びながら、コミュニティを形成し、将来のための計画も立てていきたいと考えている。

⑩ ASOBOプロジェクト



いつ何をして遊ぶかななどの情報を周囲の公園に発信、受信することが可能

飛び入り参加の中学生・高校生チーム。別々の公園にいる者同士がつながり、外遊びの機会が増え、新たなコミュニティができるきっかけづくりをテクノロジーによって実現することを目指し、世界大会でプレゼン予定。

イベントを増やしたい訳ではない
古い緑道をただ新しくしたい訳ではない



地域に愛され、世界が憧れる
そんな“シーン”が街にどんどん生まれる
仕組みや進め方とは…。

現在の状況

盛り上がりを見せるフューチャーセッション

ササハタハツまちづくりをジブンゴトとして取り組む10プロジェクトが始動！

多世代が参加する緑道WS × 緑道検討

「地域に愛され、世界が憧れる」緑道づくりに向けて、プレイヤー（企画運営者）、ユーザー（利用者）、サポーター（応援する人）が明確となり、繋がりつつある状況

課題と方向性

本日はココ！

性格の似たフューチャーセッションと緑道WS（参加者も重複）

**意見収集の場
を統一する**

→ササハタハツ会議開催

一方、たくさんの意見やPJ
アイデアは出揃っている

**更に寄り添い支援
する体制が必要**

→PJ支援体制構築

まちの将来像×PJの定着

エリアの将来像が必要

→エリアビジョン策定

今年度の推進体制

フューチャーセッション参加者 緑道WS参加者

町会 商店会 学校 ササハタハツ民 NPO 企業

参加

ササハタハツ会議

～フューチャーセッションと緑道WSの統一～

- ① 緑道整備の検討状況の共有と意見収集の場
- ② 地域の自発的なプロジェクトの共有・深化・仲間づくりの場
- ③ エリアビジョンへ反映する意見収集の場

主催・運営

渋谷区

(公園課×まち課)

ササハタハツ会議の意見反映フロー

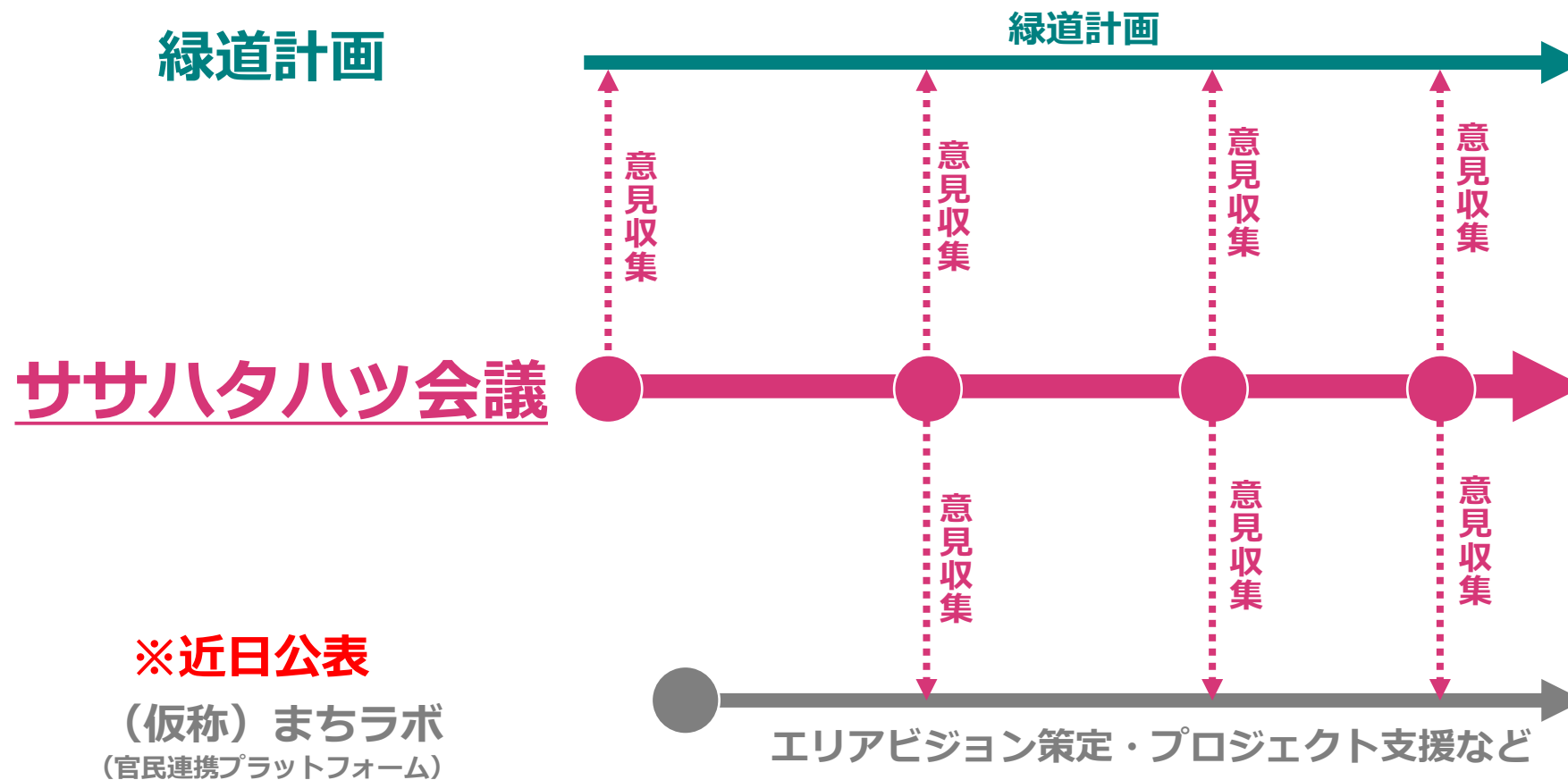
本日

9月頃

1月頃

3月頃

反映→意見収集に変更





東京ランドスケープ研究所



Atelier
Tsuyoshi
Tane
Architects

建築家 田根 剛 氏



株式会社東京ランドスケープ研究所

1968年に渋谷区竹下通りで創業／以来50余年、公共の緑を中心に5,800件以上の受託実績／現在、渋谷区本町一丁目に本社所在



昭和記念公園



肥後細川庭園

漱石公園

大塚駅北口駅前広場(工事中)



代々木公園 噴水広場



お台場海浜公園



柳島キャンプ場 指定管理者



第31回都市公園等コンクール 国土交通大臣賞 おとめ山公園

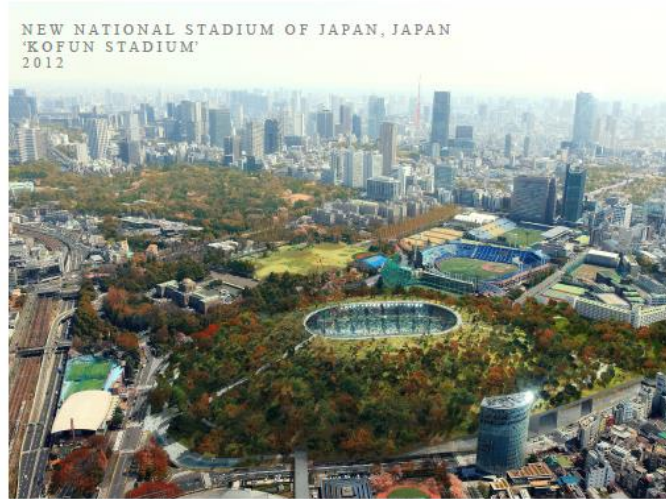
Atelier
Tsuyoshi
Tane
Architects

田根 剛(たね つよし)

建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。
場所の記憶から建築をつくる「Archaeology of the Future」をコンセプトに、現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行中。



エストニア国立博物館



新国立競技場案 古墳スタジアム



等々力溪谷の家



弘前れんが倉庫美術館



"LIGHT is TIME" シチズン ミラノサローネ2014

388FARM

ササハタハツ ファーム

京王線笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅のそれぞれ頭文字を取り、
「ササハタハツ」と称しているエリアを覚えやすく見た目も可愛い数字で表現。
「農」を通じて、地域のコミュニティが今後も育っていく思いを込めて「FARM」と名付ける。

グループ討議 (30分)

- ・コンセプトプランの感想
- ・コンセプトプランに関する質問



- ・設計者に質問する代表者を決める

設計者との対話（20分）

グループ討議で決めた代表者が質問や感想を
区や設計者に伝える